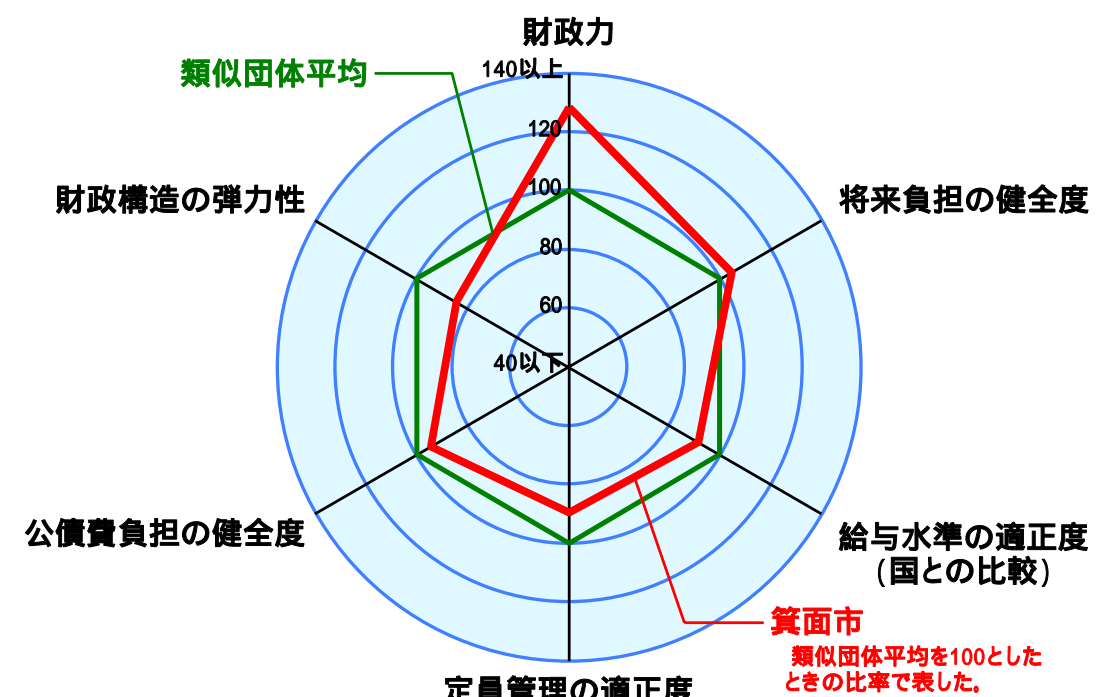
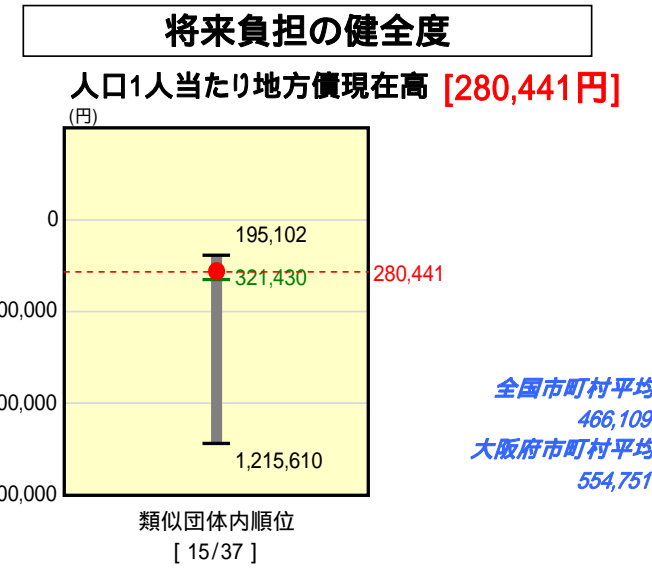
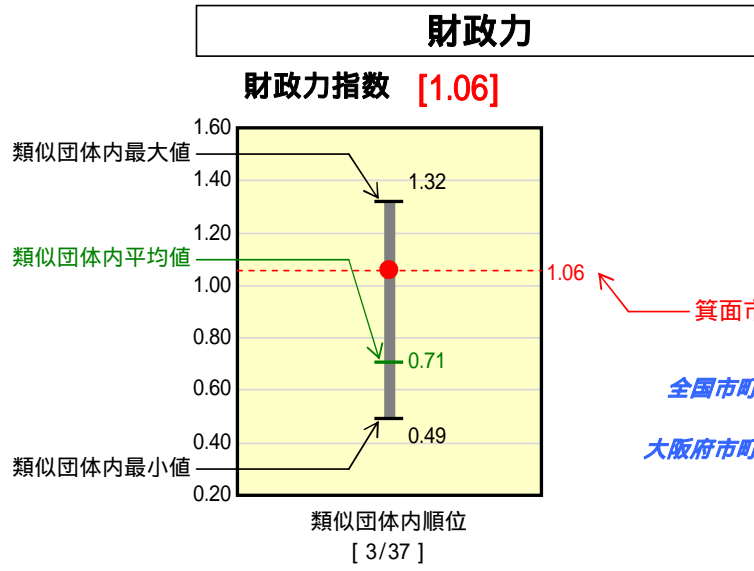


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

大阪府 箕面市

人口	124,126人(H17.3.31現在)
面積	47.84 km ²
歳入総額	42,047,206千円
歳出総額	41,014,494千円
実質収支	889,605千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

- 財政力指数**
市民税及び固定資産税など類似団体を上回る税収があるため1.06となっている。今後は、評価替えに伴う固定資産税の減収が見込まれるが、市税全般における徴収率向上対策を中心とした歳入確保に努める。
- 経常収支比率**
人件費、物件費が類似団体より多い上、扶助費、公債費の増が影響した結果97.9%に至った。今後、100%を超える厳しい状況が続くと見込まれるが、人件費他経常経費削減を積み重ね、100%以下に維持・抑制することを目標とする。
- 起債制限比率**
新都心整備事業、公共用地先行取得事業等に係る事業債の元利償還の開始などにより、平成15年度から類似団体平均を上回っているが、償還額は平成17年度をピークに減少に転ずる見込みであり、更なる起債抑制により健全化を進めていく。
- 人口1人当たり地方債現在高**
市債発行の抑制により、平成15年度をピークに市債現在高は減少している。1人当たり市債現在高も類似団体平均を下回っており、今後も新規発行債を抑制し、更なる改善に努める。
- ラスパイレス指数**
平成12年度から、給与カット、人勤に基づくマイナス改定等による給与適正策を実施し、類似団体平均をやや上回るものの、ほぼ国水準程度に落ち着いてきた。引き続き、総人件費の抑制と併せて給与水準の適正化に努めていく。
- 人口1,000人当たり職員数**
職員定数適正化計画に基づき、平成8年度以降、定年退職不補充やアウトソーシング等により、職員数を削減(9年間で15.6%)してきた。今後も国の示す目標純減率を基本として、業務の見直し等と連動した計画的定員削減に努める。

